

カヤックで、もっと世界へ

@ カヤックから学んだ 人生のための術

「自然に対する興味は、小さい頃から持ち続けていましたね」と語る高橋さん。体を動かすことが大好きだったという。小学生の頃は、小さな救命セツトとお小遣いを持って、多摩川沿いを自転車で走るのが好きでした。

「陸にいても、海にいても、あまり変わらないですね」。大田区千鳥町生まれ、現在「大森海苔のふるさと館」で働く高橋義人さんは、プロとして活躍しているシーカヤックの指導者でもある。日常生活でも山や海へ赴くことが多く、自然に精通している高橋さん。そして、自然が相手だからこそ、謙虚さが大事だというシーカヤックの世界は、高橋さんの人生と深い繋がりがある。今回は、シーカヤックに多くを学んだ高橋さんの人生に迫る。(取材・文=海老澤圭)



たくさん資料をもとにひとつひとつ丁寧に説明してくださった高橋さんのインストラクターと博物館スタッフ、どちらもわかりやすく教えるのが仕事だと納得。

第24回 シーカヤックインストラクター&ツアーガイド NPO法人海苔のふるさと会

高橋義人さん

たかはし よしと

DATA 大森 海苔のふるさと館 入館無料
開館時間/9時~17時(6~8月は~19時)
休館日/第3月曜・年末年始
東京都大田区平和の森公園2-2
TEL: 03-5471-0333
イベント情報はウェブで http://norinoyakata.web.fc2.com/



大好きなシーカヤックで世界の海へ!

(写真提供=高橋義人さん)

小学校生活最後の夏休みには、実家のある千鳥町から国道一号線沿いに、小田原まで自転車を走らせたという逸話もある。そんな高橋さんがカヌーと出会ったのはこの頃のこと。夏休みの自由研究の材料を探して本を開いていると、ふとカヌーが載っているページが目があったのだという。この時、高橋さんの中に、カヌーを作りたい、という強い思いが生まれた。しかし、その思いを実現するには、今少し時間を要することとなる。やがて、山梨の大学を卒業し、学生時代のアルバイト経験を活かして十関系のベンチャー企業に就職。社会人として慌たたく全道をまわった後、この頃、あるインターネットサーフィンをしていた高橋さんは、カヌーについて書かれたあるホームページを見つけた。小学生時代からカヌーを作りたいと思い

続けていた高橋さんの思いは再燃した。これをきっかけに会社を辞め、島根県のアウトドア施設に就職。カヌー教室でインストラクターをしながら、高橋さんへの視点は段々と世界へと向けられていった。その頃、高橋さんは日本で最初のシーカヤックインストラクターである柴田又広氏や「シーカヤック」という言葉をつくらせたジョン・ダウド氏と出会い、大きな影響を受けた。ジョン・ダウドの著書「シー・カヤック」は彼のバイブルです。この頃、知床で初の長期キャンプも経験。キャンプの仕方、テントの張り方、食事の栄養バランスの摂り方などは、ユニコーンの時とはまた違った、自然の中で生きていくための知識を学んだ。

「カヤックは、人生セオリーパララックスですね。生きていくための術は、カヤックに凝縮されているかと思いがち」と高橋さん。その後、いよいよ「内海」としてカヤック達の間で有名な瀬戸内海で、内初の遠征に挑んだ。山口県から香川県までの約300kmの道程を9日間で、漕ぎだけで楽しかったカヤック。しかし、高橋さんはこの頃から、カヤックのインストラクターやガイドという仕事に対して、特別な思いを抱くようになった。

7年ほど、ジョン・ダウド氏の開いた世界初のシーカヤックショップでインストラクターだったダン・ルイス氏がガイドをつとめる「リーダースhip・コース」に参加するために、再びカナダへと赴いた。参加者のほとんどが外国人という環境の中、講座は10日間を経て開催された。は

じめは英語という言葉の壁があったが、高橋さんが英語に取り組み姿勢が参加者たちに次第に認められるようになり、徐々に打ち解けていったという。カヤックを通じて、ことはじやない何かが伝わってきますよね。色々な人がいて、色々なカヤックの考えかたがある。と高橋さん。無事に講座を修了した時は、あまりのうれしさに泣いてしまったという。

「海苔が一番生きやすい水位のことを生産者の方々は「八段線」と呼ぶのですが、それは僕の海の経験からすると、ラジツボのつきやすい場所」と変換することができました。これまでのカヤックを通じて得た経験を活かして、海苔の特徴や歴史についてわかりやすく、一番のことに今の人に、今のことを未来に伝えていきたいですね」と目標を掲げて働いている。

将来の展望については「シーカヤックで海苔を見に行くような企画ができればいいな」と高橋さんは、常に新しいやり方を、自分で切り開いてゆくと語る。高橋さんらしい発想だ。「カヤックでも、海苔でも、もっと世界に出て行きたい。カヤックで育まれた高橋さんの夢は、世界をつなぐ海に向かって走り始めて

同年秋には、全長三七〇km、カヌー乗りの間では聖地として知られるカナダのユニコーン河川に挑戦した。針葉樹が特徴的なユニコーン河川は、多くの野生動物が暮らしている。そんな野生動物がいる場所では銃が必須であること、彼らが近寄らないようにテントに食べ物のにおいを近づけないこと

「カヤックを手段として、色々なことをやってゆきたいですね」という高橋さん。現在は、一勝島運河倶楽部「主催の初心者向けカヤックスクールなど、カヤックのインストラクターやガイドとして各地で活躍しているだけでなく、大森海苔のふるさと館で働き、一定の草鞋を履きこなしている。

【編集後記】 ■1面はキレイになるお店が盛りだくさん!しかし私は無難(泣)、読者のみなさんがステキになりました。■H17年「東海道おいしいまちあるき」を開催しましたが、立会川ありの東海道は楽しいまちあるきコースです。ホームページでも紹介していますので是非ご覧ください。(お)

【STAFF】
Publisher / Editor in chief 鶴岡 修
Art Director / Editor / Photographer / Advertising Writer たかだあや 森本道子(1) クラカタヒロシ(2) 高橋陽子(3) 海老澤圭(4)
Illustrator & DTP Operator 池田英子 高道哲子

大森まちづくりカフェ 第24号 2010年なつ号

【発行】2010年7月1日(年4回 季刊)
【配布】大森を生活圏とする地域に15,000部
【発行】特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ編集部
〒143-0024 東京都大田区中央4-4-16
tel/fax: 03-5935-7881 (アンケートの宛先はこちら!)
email: office@oomori-cafe.com
【印刷】有限会社三平印刷所
東京都品川区大崎 1-10-1 ☎ 03-3493-4911 http://www.unyo.com

次号は**2010年10月1日発行**予定です



大森海苔のふるさと館でお会いしましょう。

地球温暖化対策地域協議会 第00364号
建物から地球環境を変える会
http://we-can-eco.main.jp/

7/10(土)17時~18時
住宅版
エコポイント活用講座
会場: ころぼ大森 大森西2-16-2
住宅版エコポイント制度をわかりやすく解説&二重サッシを体感

8/8(日)13時~16時
親子で
手づくり太陽光発電
会場: ころぼ大森 大森西2-16-2
太陽光発電/パネルを手づくりで製作。夏休みの宿題に最適!
---前回の様子。今回は各自フォトフレームサイズを製作します。

お問い合わせ・お申し込み: TEL 03-3765-4300 FAX 03-3768-1050 メール we-can-eco@ucmain.jp
本事業は「大田区協働プロジェクト」採択事業です

私たちは大森まちづくりカフェを応援しています。

Yayoi BLDG. Co., Ltd.

■大田区西の不動産賃貸業
株式会社 やよい建物
東京都大田区仲池上1-10-3 ☎ 03-5700-1685

最新物件情報はホームページ
http://www.yayoi-bldg.com/ やよい建物 検索

ブログも好評 「大田区西で暮らし」 http://blog.goo.ne.jp/fureai2006/

KASUGABASHI GOLF CLUB
環七春日橋ゴルフ練習場

身体にやさしく、心にもやさしい練習場です。

只今ゴルフスクール生 募集中です! 詳しくはHPまたはフロントまで

入場料 いつでも
照明料 無料

www.kasugabashi-golf.com
大田区大森西1-10-23 ☎ 03-3761-6761
営 平日 9:00 (土日祝 8:30) ~ 21:30 休 無休 年末年始を除く